



人類に
奉仕する
ロータリー



守口ロータリークラブ 週報 No. 17



ロータリー財団月間

2016~17・RIテーマ

本日のピアノ演奏

1. もみじ 2. いそしぎ 3. モダン・ガール

日本の経済・雇用・株価への
トランプ効果は？

本日例会 2016年11月16日(水)
(第2694回)

「「ロータリーの友」朗読」
他谷 勝 委員長・石津 昭彦 委員・佃 啓史 委員
担当：広報雑誌・会報委員会

次回例会 2016年11月30日(水)
(第2695回)

「マジック」
吉川 巧一 委員長
担当：会員増強委員会

出席報告

例会日	出席	欠席	出席率
11月09日	35 (内免除者2名)	6	85.37%【会員43名】
10月26日	33 (内免除者2名)		メイクアップ2名 (82.50%)



水谷 出席・プログラム委員長

前回例会 (2693回) 11/09 の主な内容

◎本日のゲスト (親睦活動委員会・三宅委員長)

他谷会員のお客様
武内 恒行 様



◎幹事報告 (幹事 石谷 隆子)

- ・守口市民まつりで配布しました来年度のカレンダーをご入用の方はお持ち帰り下さい。
- ・守口市役所新庁舎へ石銘板寄贈のお礼状が届いています。



■ 会 長：三 浦 均
■ 幹 事：石 谷 隆 子
■ 広報雑誌・会報委員長：他 谷 勝
URL：http://www.moriguchi-rc.jp/

■ 例 会 場：ホテル・アゴラ大阪守口 守口市河原町10-5
TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038
■ 事 務 所：守口市河原町10-5 ホテル・アゴラ大阪守口5F 〒570-0038
TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009
■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp
■ 例 会 日：毎週水曜日 12時30分～13時30分

◎会長の時間 (会長 三浦 均)

卓 話

クラブ研修委員会
委員長 佐治 信隆



「稲むらの火」

国連が昨年創設し、初めて迎えた「世界津波の日」の11月5日、啓発イベントや高台への避難訓練などが各地で行われました。

(～次ページに続く～)

「例会出席は義務ですか？
楽しみですか？」

『新会員の皆様、ようこそロータリーへ。初めてクラブ例会に出席した時、少し緊張しませんでしたか？不安に思った方もいらっしゃるでしょう。入会間もない人、少しなれてきた人、すでに委員長を努めている人、新会員と違ってその状況は違うと思います。

(～次ページに続く～)



◆◆◆委員会報告◆◆◆

○社会奉仕委員会 (博多副委員長)
守口市民まつりご出席のお礼

○親睦活動委員会 (三宅委員長)

日帰り家族親睦旅行のご案内
日 程：11月19日 (土)
集合出発：午前8時30分
行 先：丹波篠山方面
参加費：会員：15,000円、家族：10,000円

○青少年奉仕委員会 (井上委員長)

・守口市中学生スピーチコンテストご案内
日時：11月12日 (土) 9：00～
会場：守口市生涯学習情報センター「ムーブ21」

◆◆◆第3回選考委員会だより ◆◆◆

日時：11月9日 (水) 11：30～
場所：「事務局」出席：7名
議題：次々年度会長・次年度理事役員候補者について

◆◆◆親睦活動委員会だより ◆◆◆

日時：11月9日 (水) 13：40～
場所：「事務局」出席：13名
議題：卓話担当について
・クリスマス家族親睦例会について



ニコニコBOX S・A・A

- 佐治 会員 卓話をさせていただきます。
- 石井 会員 11月6日守口市民まつりに出席出来ずお詫びとして。
- 大野 会員 菊田様始め皆様にいつも沢山のお写真を頂きまして有難うございます。
- 他谷 会員 武内様のご見学を喜んで。
- 平沼 会員 新商品出来ました。欠席続きすみません。
- 博多 会員 市民まつり欠席のお詫び。

11/09ニコニコBOX 535,000円

（～会長の時間、前ページからの続き～）

この日は2011年の東日本大震災が起きた3月11日でも、2004年のインド洋大津波の12月26日でもありません。実はこの日は、安政元年11月5日（西暦1854年12月24日）の安政南海地震が起こった日です。この地震にまつわる「稲むらの火」という物語が「世界津波の日」制定の由来となっているのです。

「稲むらの火」は、昭和12年から22年まで、小学5年の国語読本に掲載されました。物語の内容は、「高台に住む庄屋の五兵衛は、地震の揺れを感じたあと、海水が沖合へ退いていくのを見て津波の来襲に気付く。祭りの準備に心奪われている村人たちに危険を知らせるため、五兵衛は自分の田にある刈り取ったばかりの稲の束（稲むら）に松明で火をつけた。火事と見て、消火のために高台に集まった村人たちの眼下で、津波は猛威を振るう。五兵衛の機転と犠牲的精神によって村人たちはみな津波から守られた。」というものです。

この話のモデルになった実話の舞台が、和歌山県広川町です。主人公のモデルの濱口梧楼（儀兵衛）はヤマサ醤油の七代目にあたる人物で、当時は35歳。実際には、津波襲来後、暗闇の中で逃げ遅れた村人に避難の方角を知らせるために高台に有った収穫後の藁に火をつけて灯りとなりました。

25,000人も犠牲を出した明治三陸地震津波（1896年）に衝撃を受けた小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）は三陸の被害と濱口の逸話をもとに短編「リビング・ゴッド（生き神様）」を著しました。これを中井常蔵が日本語の子供向けの読み物にしたものが、教科書に採用されたのです。

濱口梧楼は津波後も、莫大な私財を投じて村民の住宅を建て、農漁業の再生を支援し、さらに「住民百世の安堵を図る」と、村人を雇って海岸に高さ5m、長さ650mの堤防を築きました。これにより、村人は離散することなく、92年後の昭和南海地震では堤防内は無事でした。

津波防災の意識を世界が共有する日は、多くの命が奪われた「鎮魂の日」ではなく、人命が救われた成功例にちなんだ日であってほしいという願いが、11月5日には込められています。

枕草子 第一段 冬 清少納言

冬はつとめて
雪の降りたるは
いふべきにもあらず
霜のいと白きも
またさらでもいと寒きに
火など急ぎおこして
炭もてわたるも
いとつきずきし
昼になりてぬるく
ゆるびもてゆけば
火桶の火も白き灰がちに
なりてわろし

気が付けばもう、立冬を過ぎていました。この一節を読むと、きりっとした寒さも良いものだなと、待ち遠しい気がします。まだまだ先のことですが・・・（他谷）

（～卓話、前ページからの続き～）

例会に出席するたびに、少しずつ、先輩会員の顔と名前がわかるようになってきて、最初の緊張もほぐれてきた、そんな方も少なくないでしょう。

ちょっと難しい話になりますが、ローターリーにはいくつかの規定があります。その規定は3年に1回見直されるのですが、その会議を規定審議会と言い、直近では今年の4月に開催されました。今、各クラブでは、変更された規定を確認されて、それに基づいてクラブの細則を変更する作業が進められていると思います。皆様のクラブではいかがです。

この規定審議会では例会についても変更されました。原則として毎週開催されることになっていたクラブの例会は、クラブ細則で頻度を変更できることになったのです。

皆様が例会が減ったら「ラッキー」と思われますか。それとも「残念」と思われますか。忙しいと「例会に行く時間がつくれない」「例会に行くのが面倒だ」と思ってしまうかもしれません。そんな時「例会が隔週だ」と思ってしまうかもしれませんが、そんな時「例会が隔週だったらいいのに」という考えが頭をよぎると思います。しかし、例会に出席し、顔を合わせてこそ先輩の顔と名前を覚えることができますし、親しい人が増えるのだと思います。

親しくなれば、先輩からは、ローターリーのこと、仕事のことで、趣味などたくさん話が聞くことができます。ですから、例会の頻度がどの程度であれ、例会がそれぞれのクラブにとって、皆様にとって大切なことには変わりありません。

ローターリーでは「例会の出席」を「会費の納入」と「雑誌の購入」と合わせて、三大義務といっています。しかし、忙しい合間を縫って出席するのですから、義務と言われても気が進まないというのも、当然のことです。義務としてではなく、「楽しいことがあるから例会に出席する」ようになっていただきたいと思っています。

さて、クラブの長老と呼ばれる方たち・・・この方たちは、新会員の皆様にとって遠い存在かもしれません。年配の、男性会員にはシャイな方が多いので、気にはなっていない、自分から声をかけることが出来ない、という人が多いのです。皆さまから「こんにちは」と声をかけてください。きっとニコニコしながらあいさつを返して下さると思います。

次のステップとして「入会されたころ、このクラブはどうでしたか？」と聞いてみたらいかがでしょうか。クラブの例会の様子や当時実施したプロジェクト、入会したばかりのころの失敗談などを聞くことができます。クラブで委員長を務めている会員、この人たちが一番ローターリーの最新情報をご存じだと思います。わからないことがあったらどんどん質問してみてください。

皆さまより少し前に入会した会員たちとはすぐに打ち解けることができると思います。先輩に聞きづらかったら尋ねてみてください。

例会に出席した時、皆さまから積極的に話しかけると速く名前を覚えてもらえますし、先輩について知ることもできます。こうなってくると、例会の日が待ち遠しくなるでしょう。

例会はローターリーになじむための第一歩です。楽しんで出席してください。』

ローターリーの友8月号『友』 編集長 二神典子